



私がヘルメットをかぶる理由 自律? 他律?

問 あなたが自転車に乗る時に、ヘルメットをかぶるのはなぜですか。

次のⒶ～Ⓔのうち、自分の気持ちに最も近いものを一つ選びなさい。

- Ⓐ 「先生」や「警察」に見つかると注意されるから。
- Ⓑ 「みんな」かぶっているから。
- Ⓒ 「校則」や「道路交通法」で決められているから。
- Ⓓ 事故の時に致命傷から「命を守る」ため。
ちめいじょう
- Ⓔ かぶるのが「習慣」になっているから。



❶荷台に固定されたヘルメット

「ヘルメットをかぶる」という行動は同じでも、その理由や考え方は様々です。どれが正解ということもありませんが、「自律」「他律」という観点からは次のような見方もできます。

Ⓐを選んだ人は、先生や警察が見ていない場所ではかぶらないかもしれません。Ⓑを選んだ人は、周りにノーヘルの友達が多ければどうするでしょうか。つまり、他人（「先生」「警察」「みんな」等）が自分の行動を左右している（他律）ということになります。

それに対して、ⒹやⒺを選んだ人は、自分の意思で自分の行動を決めています。これを“自律*”と言います。

*自律…自分で判断し、適切に行動できること。（自分の立てた規律に従って自らを規制しながら行動すること。）

大人に近づくにつれて、親や周りの人から注意されたり怒られたりする機会は減っていきます。反対に、自分の行動を自分で選択し決定することが増えていきます。同時に、自分の行動がもたらした結果に責任が伴うようになります。

イソップ物語のロバを売りに行く親子(右)は、自分で考えずに人に言われるがままに行動した結果、大切なロバを川に落としてしまい何の利益も得られません。人の意見を聞くことは大事ですが、その後しっかり自分の頭で考え、正しく判断することが重要です。この親子のようにならぬよう、自律した一人前の人物へと成長を遂げられていますか。



❷マナーアップ・リーダーズの活動風景
(⑥ひまわり絆プロジェクト, ⑦海ごみゼロウィーク)

●ロバを売りに行く親子の話●

ある親子がロバを売りに町に出かけました。

それを見た人が「せっかくロバを連れているのだから乗ればいいのに」と言うので、子供をロバに乗せました。しばらく歩くと別の人には「親を歩かせるとは親不孝な子供だ」と言われ、今度は子供を下ろして親がロバに乗りました。

しばらく歩くとまた別の人には「子供を歩かせるなんてひどい親だ。一緒に乗ればいいのに」と言われ、二人でロバに乗りました。

さらに行くと別の人には「小さなロバに二人が乗るなんてかわいそう」と言われ、親子は一本の棒にロバの両足をくくりつけてかついで歩きました。

やっと町に着き、橋を渡ろうとした時に、ロバが苦しがって暴れ出し、川に落としました。

親子は結局、何の利益も得られませんでした。
(『イソップ物語』より)